

16頁 下から3行目

註(32)は、17頁上から2行目の「示していた」につきます。

33頁 上から2行目

誤：可読性を下げており

正：指先による可読性を下げており

35頁 上から6行目

誤：1871（明治3）年12月

正：1870（明治3）年12月

35頁 上から11行目および13行目

誤：『日新真新誌』

正：『日新真事誌』

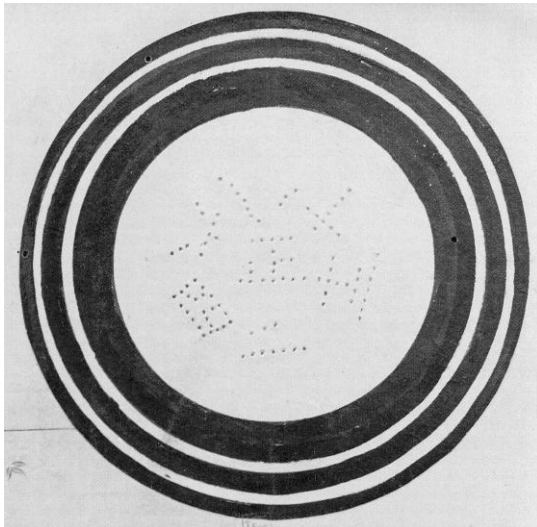
46頁 下から10行目

誤：故二唾児モ

正：故三唾児モ

48頁 図9

印刷時の問題でモアレ調が出ています。正しく表示される図は以下となります。



53 頁 上から 6 行目

誤：杉田孫六

正：杉山孫六

77 頁 下から 6 行目

誤：パリの国際会議に

正：アミテージはパリの国際会議に

89 頁 下から 13 行目

誤：西洋大小絵曆

正：大小絵曆

90 頁 下から 2 行目

誤：凸時聖書

正：凸字聖書

101 頁 註 (66)

ここでは五十川中の年齢を検討していますが、『藤岡屋日記』十三巻を根拠とする「丑二十九」は、脱藩事件にかんする取り調べを受けた慶応元（1865）年が丑年であり、この時点で 29 歳であったことを意味するものでした。よって、数え年で 1837 年生まれであろうと思われます。ただし、この計算だと註（66）で言及しているアメリカ渡航に関する文書において「明治 3 年時点で 29 歳」とあるのと矛盾が生じますが、これは何らかの事情で年齢を若く表現したものと思われます。よって、五十川の生年を 1837 年とし、これに関連して以下のように本文を修正します。

34 頁 上から 10 行目

誤：五十川は 1841（天保 12）年

正：五十川は 1837（天保 8）年

39 頁 上から 6 行目

誤：1841 年生まれとするなら、このとき 51 歳前後であった。

正：1837 年生まれとするなら、このとき 55 歳前後であった。